

大阪 需要に停滞感が残り軟地合いの展開

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況はなおも軟地合い。地区単独で下げ進むかは不明な点が多いが、来月も電炉需要の停滞感を払拭しにくく、弱気見通しは根強いままにある。24日時点での地区H2実勢値は4万～4万1000円見当で推移している。

地区内では24日から日鉄スチールがH1のみ500円の値下げを行ったことにより、19～24日にかけて品種限定を含め、下げ一巡の展開を見せた。今回の値下げは需給を反映した調整的なものと見受けられるが、湾岸

筋も上級玉を中心に一定の集荷意欲が残っている。電炉側も入荷制限を継続している以上、市中業者筋の心理的な部分にも配慮しなければならず、地区単独で積極的に下げ動いてくるかは見通しにくい部分がある。

ただ、7月は炉休の有無に関係なく、6月比での生産減を計画しているところも少なくない。電炉全般に在庫レベルが高く、不安定な荷受け体制が継続する公算が大きいため、「価格は東鉄次第でも、需給からすれば、下げ余力は残っている」(商社) と見る向きが多い。

延田建設金属、「カンテツ」に社名変更

(大阪) 金属スクラップディーラーの延田建設金属(本社=大阪府東大阪市、延田直社長)はこのほど、30日付で社名を「株式会社カンテツ」に変更することを公表した。なお、住所、電話番号に変更はない。

新しい社名は、同社の「関西の鉄スクラップのリサ

イクルに取り組んでいく」というリサイクルへの熱意を表したものとなる。延田社長は「覚えやすく、親しみを感じられる社名に変更した。これを機に地域に根差したリサイクルに一層取り組んでいきたい」と意気込みを話す。

ワンライブ、2025NEW環境展にスクラップの在庫管理システムを出展

(兵庫) 金属リサイクルやアプリの開発を手掛けるワンライブ(本社=兵庫県尼崎市、土肥容高社長)は、東京ビッグサイトで開催された2025NEW環境展にスクラップの在庫管理システムを出展し、金属リサイクル業界や電線メーカーなどの企業が多数来場した。

ブースでは、業界内で話題となっているスクラップの在庫管理システム「メタライブストック」を展示。同システムはスクラップの在庫管理のほか、仕入れたスクラップの加工に関わる人件費や光熱費などの加工費を入力することで、スクラップの原価も算出できる。このようにスクラップの包括的管理を実現することによって、スクラップの資産管理が容易化され、利益率を追求したスクラップの入出荷も可能となる。

期間中は、金属リサイクル業界の関係者らが来場し、

土肥社長や百井一貴取締役とスクラップの在庫管理に関する悩みなどについて情報交換し、ブースは大いに盛り上がっていた。また全国的に有名な電線メーカーも訪問し、同様の相談を受けていた。環境展を終え、土肥社長は「在庫管理は業界共通の課題であることを改めて知ることができた。来場者さまの意見を踏まえ、システムのアップデートを図り、システムの普及に努めていきたい」と話す。同システムに関する問い合わせは06-6439-7986まで。URL:<https://metallivestock.j-metalive.com>



出展したブース

本社
京阪神地区を3工場体制で
東初島 網羅! 枚方

松本産業株式会社

環境マネジメントシステム ISO14001認証取得

本 社 工 場

☎660-0832 尼崎市久々知3丁目23番33号
☎(06) 6499-1231番(代)

東初島営業所

☎660-0832 尼崎市東初島町2番45
☎(06) 6489-0101番(代)

枚方営業所

☎573-0003 枚方市出屋敷西町1丁目21番1号
☎(072) 847-3592番

<http://www.matsumoto-co.jp/>